

景気の動き

四 国（四経連「景気動向調査」結果）

項目	3月調査	前回（2023年12月）調査
調査結果の概要	四国の景気は、持ち直しの動きが続いている。	同左
経営者の景況感	明るさが続いている	同左
生産	弱含みの動きが続いている	同左
輸出	弱含みの動きがみられる	足踏みが続いている
在庫	ほぼ横ばいとなっている	過剰感は幾分和らいでいる
企業業績	改善が進んでいる	回復傾向が続いている
設備投資	堅調に推移している	堅調に推移する見込み
雇用	良好な状況となっている	同左
個人消費	全体として回復している	全体として回復傾向が続いている

〔四国経済連合会 2024年3月26日発表〕

全 国（月例経済報告・内閣府）

項目	3月月例	2月月例	
基調判断	景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。 （先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。）	同左	
個人消費	持ち直しに足踏みがみられる	同左	
設備投資	持ち直しの動きがみられる	持ち直しに足踏みがみられる	
住宅建設	弱含んでいる	同左	
公共投資	底堅く推移している	同左	
輸出入	輸出	持ち直しの動きに足踏みがみられる	このところ持ち直しの動きに足踏みがみられる
	輸入	このところ弱含んでいる	おおむね横ばいとなっている
	貿易・サービス収支	赤字となっている	同左
生産	持ち直しに向かっていたものの、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、このところ生産活動が低下している	同左	
企業	収益	総じてみれば改善している	同左
	業況判断	改善している	同左
	倒産件数	増加がみられる	同左
雇用情勢	改善の動きがみられる	同左	
物 価	国内企業物価	横ばいとなっている	同左
	消費者物価	緩やかに上昇している	このところ緩やかに上昇している

〔内閣府 2024年3月22日発表〕